

学年：3年	単元名：倍の計算
-------	----------

1. 単元目標：(全3時間)

○基準量や倍の意味について理解し、それぞれ答えを求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して演算決定や数量の関係を考える力を養うとともに、2つの数量の関係を考察した過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。

考判表・倍概念を身に付ける。

- ・動作化・倍の数直線図をつかって、演算決定をする。

知・技・倍の意味を理解する。

- ・倍の数直線図や□を使って問題を解くことができる。

2. 指導内容

- ・
- ・

3. 指導のポイント

○倍概念の構築

- ・かけ算において $\bigcirc \times \square$ 倍 (何倍の考え)
- ・わり算においては、 $\bigcirc \div \triangle = \square$ 倍 (いくつ分の考え)
「 \triangle を1と考えると \bigcirc は、 \square になる」というわり算の本来の考え。

○倍の問題の立式は、

- ①動作化
- ②倍の数直線図

※どちらにしてももともとなる量(1になる量)を見つけなければ、立式できない。

\triangle の \square 倍 $\rightarrow \triangle$ がもともとなる量。

※倍の数直線の指導をしなくてもテープ図で十分だと思う。

数直線図にすると、どうしても数処理になってしまう。
具体的、視覚的な図の方がいいと思うがどうだろうか。

4. 指導にあたって

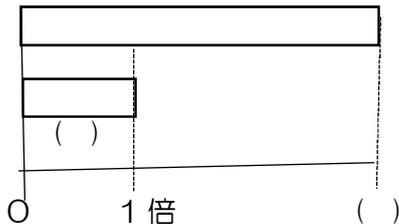
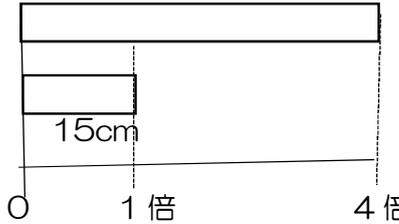
①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）
〇倍の問題を解こう。（P76/77）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>（導入）</p> <p>1. 問題把握</p> <p>ゆみこさんは、えんぴつを使ってつくえの横の長さをはかりました。えんぴつの長さは、15cmです。つくえの横の長さは、えんぴつの長さの4倍でした。つくえの横の長さは、何cmですか。</p> <p>T:式と答えを聞いて、絵や言葉で説明しよう。</p>	<p>・動作化をしながら説明。</p> <p>・WB 配布</p>
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>〇動作化で</p> <p>〇情景図で</p> <p>〇テープ図・線分図で</p> <p>T:いろいろな解き方が出ました。みんなよく考えていますね。</p> <p>T:さて、ここで新しい倍の数直線図を教えます。</p> <p>①まず倍の問題であることを確かめる</p> <p>そうしたら下のような図をかく。</p> <p>()</p>  <p>②問題文にある数値をはめていく。</p> <p>□cm</p>  <p>③図を見て立式する。</p> <p>・$15 \times 4 = 60$ 答え 60cm</p> <p>T:もちろん動作化でも立式できます。</p> <p>両方でできるとまちがわないですね。</p>	
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T:では、倍の数直線図をかいて、P77①を倍の数直線図をかいて答えを求めましょう。</p>	<p>・個別指導</p>

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

〇倍の問題を倍の数直線図をかいて解こう。（P78）

1. P78② 一斉指導
2. P78② 個別指導

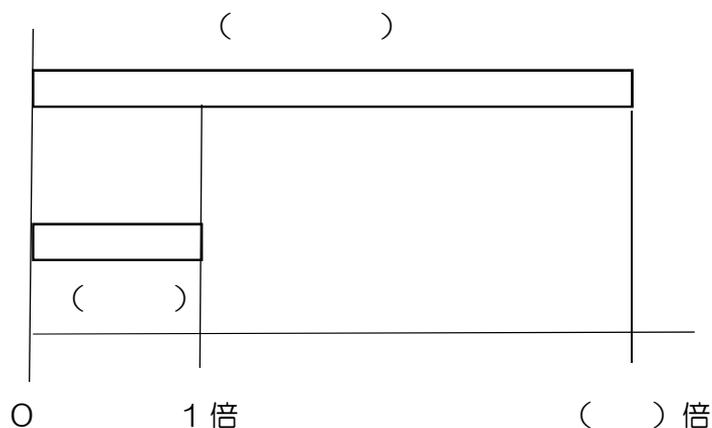
第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

〇倍の問題を倍の数直線図をかいて解こう。（P79）

1. P79③ 一斉指導

※倍の数直線図のWSを与えてもよい。



倍概念については、2年生で学習済みであるが、忘れている可能性があるので、導入で学習してもよいと思う。

「倍」について。

1. かけ算 動作化 「いくつ分」「倍」
2. 「倍」は、「いくつ分」と同じである。
3. 「1倍」がいくらになるかが、大切である。「1倍」を「基にする量」という。
4. 5mと15mのとき
5mを「1倍」というと15mは、「3倍」という。
「倍」というのは、呼び方である。
5mを1倍と呼ぶと15mは、3倍になる。

倍の問題は、何が「1倍」かを見つけることが大切である。